

レポーター：五十嵐さん、こちらの作品面白いですねー。

学芸員：そうですね。

レポーター：ゲーム。

学芸員：ちょっと、昔のゲームみたい。

レポーター：懐かしい感じがしました。

学芸員：ね。これは中国の作品なんですけど、フォン・モンボーという中国の作家が描いたゲーム・オーバー。

レポーター：ゲームオーバー。

学芸員：ゲームオーバー：人民元という作品です。1993年つまり89年の天安門事件が終わった後の作品なんです。

レポーター：どのようにして見ていったら、いいんですか。

学芸員：そうですね、9枚ありますよね。色でちょっと分けれているんですけど、左の縦3枚、真ん中の縦3枚と、右の縦3枚っていうふうに縦に見てみるとちょっと構造がわかります。

レポーター：縦に見るんですね。

学芸員：自由に見ていただいていいんですけど、どういう風な仕組みになっているかを理解するにはその方がわかりやすいですけど。上の左のようにピーザントリーさんっていう顔がありますよね。

レポーター：はい。

学芸員：それは農民のリーさんっていう人なんです。それで、右のところにトラクターがあって、そしてその下にストーン1って書いてありますよね。一つポイントを、1ポイント持ってます。

レポーター：持ってる。

学芸員：持っている意味なんですね。そのリーさんがどうやって働いているかっていうのがまあちょっと下の番号になってくるんですけど。

レポーター：あー

学芸員：いかにもこうゲームの一場面みたいなガタガタしたみたいなんですけど。右上に鎌のマーク、何かのポイントを持っているんだと思うんですね。で、その下にいくとそれが1圓の人民元ですね。ゲームオーバー：人民元というタイトルなので、1圓にその農民はなっているという風に、縦に見るとそういう風に見えます。

レポーター：はい。

学芸員：次を見て見るとどうですか。真ん中は。

レポーター：真ん中。三人のウォーカー。

学芸員：労働者の方達ですね。ポイントがさっきストーン1だったというのも、ストー

ン10になっています。もうちょっと農民の人よりはポイントが多いですね。

レポーター：上になっていますね。

学芸員：団結して3人達がありますよね。それで、ちょっと下にいくと、さっきは農村だったけど、今度は都会に。で、高層ビルとか建ってそこで働いていますね。また右の上にポイントがありますけど、鎌とあとトンカチと多分銃だと思うんですけど、さっきよりもうちょっと力強い武器というか持っていますよね。

レポーター：人数も一気に増えましたね。

学芸員：それがこの下にいてそれが人民元になると、漢字で書いてありますけど、拾圓って書いてあって、さっきの農民は一圓だったけど、今度は10元に今なっているというところです。でその最後に、一番右の列ですけど、今度見ると、さっき鎌とかあったところが、今度星になってですね。

レポーター：ほんとですね、星が4つ。

学芸員：石もストーンって書いてあるのも。

レポーター：100。

学芸員：ですね。すごい多いですね。一番左の上にいるのは毛沢東。中国ってそれですぐにわかると思いますけど、中国政治家達が4人描かれていますね。で、その下がトラックにその4人の顔が描いた旗がはためいて、後ろにある建物が天安門ですね。でそれから、下にいくと、今度それは100元。1元と比べ物にならないくらい100倍の価値を持つ100元の紙幣になった政治家達っていうのがここに描かれていますね。

レポーター：左上にマークみたいなのがありますね。

学芸員：ですねー。なんですかこれは。音が出ないミュートのマークですよ。

レポーター：音がでない。いいたいことも。

学芸員・レポーター：いえない。

学芸員：うーん。かもしれないですね。となりはどうですかね。

レポーター：巻き戻しのマークですよ。

学芸員：んー。巻戻ったら、どこに行くんでしょうか。

レポーター：巻戻ったら、…農民。

学芸員：農民。団結してない。一人で働いている。

レポーター：いいたいこともいえない。

学芸員：うーん。団結したら、いえるようになる、かな。そして、こちらは。

レポーター：こちらは一時停止。

学芸員：一時停止ですね。一時停止してたらもうそのまんまですよ。変わらないずっと。政治家はずっと政治家の権力を握ったままそこから変わらない、かもしれない。いろいろなんかあの一ちょっとしたマークから、いろんなことを想像させますよね。

レポーター：ほんとですねー。

学芸員：政治家も労働者もその農民もみんなここに描かれている中では、一つのフォン・モンボーが作った一つのゲームの中の1つ1つのキャラクターというか、駒にすぎないということなんですよ。

レポーター：ふうーん。

学芸員：だから、現実世界では政治家がもちろん力を持ってるけども、この彼が作ったゲームの中では同じような力しか持っていない。ゲームをやっている人に操られているっていう存在に、現実と社会、皮肉を込めて、描いたものなんですね。

レポーター：深いですね。

学芸員：中国のその時代の社会というのがよくわかる作品だと思いますね。